

未来に活躍する
心の専門家をめざして—



研究科長 ご挨拶

研究科長 中原 瞳美

本研究科は、高度専門職業人の臨床心理士養成に特化した臨床心理分野専門職学位課程として国民の心の健康に寄与すべく平成19年度に国立大学では初の独立研究科として設置されました。平成29年9月には、臨床心理士と相補の関係にある公認心理師が国家資格として誕生し、心理職の役割の広がりが期待されます。

心の問題は、不登校や発達障害、統合失調症やうつ病、認知症、身体や家族をめぐる悩みや葛藤、自然災害、事故など多岐に亘り、その重みづけは個人によって異なります。さらにはCOVID-19(新型コロナウイルス)をめぐり、今後はPOST COVID(LONG COVID)と呼ばれる後遺症の問題や医療関係者等の燃え尽き症候群、長引く感染対策による目に見えない後遺症、など新たなこころの問題が予見されています。

臨床心理士の基盤は「臨床心理学」です。臨床心理学は、心理学ワールドの一つの領域であり、その独自性は「実践の学」にあります。臨床心理学では、心理療法の普遍性を探求しながらも、個々の面接はオーダーメイドで実践され、対象者はクライエントと呼ばれ、セラピストと呼ばれる心理支援者と同等に位置づけられます。セラピスト自身の心を使い、関係性を紡ぐなかでクライエントが主体的によく生きていく支援をすることが命題です。臨床心理学を基盤にクライエントが抱える問題の意味と一緒に考え、丁寧に寄り添い、「治す一治される」関係を超えたセラピストも共に成長する姿勢が求められます。悩みや困りごとの解決・解消はもちろん大切ですが、治らない病や悩み、葛藤という心の痛みに寄り添い、当事者がその人なりに抱えていく支援も大切です。

他方、心に関わることには副作用も生じます。そのため安心安全を提供する教育訓練や機関が必須とされ、養成大学院があります。本研究科は臨床心理士養成を軸に該当者には公認心理師受験資格を出すべく対応しています※1。自分のこころを使える心理職となるべく、本研究科で、皆さんも一緒に学んでみませんか。

※1 学部で公認心理師の受験に必要な科目を修めて卒業した人が対象となります。



教員紹介

教育研究教員

中原 瞳美 (教授)

臨床心理学／ロールシャッハ法・コレージュ療法

主な研究

ヒューマニスティック心理学を基盤に自己心理学の理論を加味した心理療法の実践及び事例研究や質的研究

廣瀬 幸市 (教授)

臨床心理学／臨ナラティヴ・アプローチ、統合的アプローチ

主な研究

臨ナラティヴ・アプローチの考え方をベースに個人臨床とコミュニティ臨床の視点を統合させた臨床心理的実践に関する研究

清重 英矩 (助教)

臨床心理学／描画法

主な研究

臨ナラティヴ・アプローチはじめとした心理臨床における描画法に関する実践と研究

高橋 佳代 (准教授)

臨床心理学／発達臨床心理学・児童臨床

主な研究

子ども虐待や発達障害などを中心とした児童心理臨床に関する研究

実務家教員

宇都宮 敦浩 (教授)

臨床心理学／非行臨床心理学・犯罪心理学

主な研究

少年鑑別所や刑務所における実務経験をもとにした非行・再犯防止のための研究

久保 陽子 (教授)

臨床心理学／非言語的アプローチ

主な研究

児童期から青年期における心理療法の実践的研究、および描画や箱庭療法などを用いた非言語表現に関する研究

吉村 隆之 (准教授)

臨床心理学／学校臨床心理学

主な研究

いじめ防止対策推進法にもとづく心理職の対応、および学級や学校の荒れに對する支援の実践と研究

仲 沙織 (特任准教授)

臨床心理学／地域医療・生活臨床

主な研究

精神科アウチーナーに関する研究、多職種協働および家族や関係機関を含めた包括的な地域支援に関する研究

令和4年5月1日現在

入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

鹿児島大学大学院臨床心理学研究科は、臨床心理分野の高度専門職業人として、深い学識と卓越した能力及び職業倫理を身につけて、国民のこころの問題に即応した心理支援ができる臨床心理士を養成することを教育目標としています。

① 求める人材像

- 臨床心理学に関する専門的技能を身につけたい人
- 臨床心理学に関する実践力を身につけたい人
- 臨床心理士資格の取得を目指す人
- 臨床心理士資格を有しており、リカレント入学としてより高度な技能や実践力を身につけたい人

② 入学前に身につけておいて欲しいこと

- 学士レベルの基礎的な知識と技能
- 臨床心理学及び心理学に関する経験と幅広い知識
- 基礎的な英語能力
- 専門的心理支援を学ぶために必要となる柔軟な思考力と判断力



鹿児島大学公式マスコットキャラクター
くろふる

③ 入学者選抜の基本方針

- 一般選抜では、筆記試験において、臨床心理士に求められる臨床心理学及び心理学に関する幅広い知識について評価し、外國語(英語)試験では、TOEICのスコアにもとづき基礎的な英語能力を評価します。口述試験は、筆記試験を受けた者を対象に行い、臨床心理学に関する経験や知識、及び専門的心理支援を学ぶために必要な柔軟な思考力と判断力、臨床心理士になる意志の確認や対人援助職としての適性などを評価します。
- 社会人特別選抜では、筆記試験において、臨床心理士に求められる臨床心理学及び心理学に関する幅広い知識について評価します。外國語(英語)試験は、TOEICのスコアにもとづき基礎的な英語能力を評価します。さらに、提出された日本語能力についての証明書等にもとづき日本語能力について評価します。口述試験は、筆記試験を受けた者を対象に行い、臨床心理学に関する経験や知識、及び専門的心理支援を学ぶために必要な柔軟な思考力と判断力、臨床心理士になる意志の確認や対人援助職としての適性などを評価します。いずれの場合も、筆記試験、外國語試験、口述試験の評価を総合して選抜を行います。
- 外国人留学生特別選抜では、筆記試験において、臨床心理士に求められる臨床心理学及び心理学に関する幅広い知識について評価します。外國語(英語)試験は、TOEICのスコアにもとづき基礎的な英語能力を評価します。さらに、提出された日本語能力についての証明書等にもとづき日本語能力について評価します。口述試験は、筆記試験を受けた者を対象に行い、臨床心理学に関する経験や知識、及び専門的心理支援を学ぶために必要な柔軟な思考力と判断力、臨床心理士になる意志の確認や対人援助職としての適性などを評価します。これらの評価を総合して選抜を行います。

学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

鹿児島大学大学院臨床心理学研究科は、全学の学位授与の方針及び臨床心理学研究科の教育目標に鑑み、以下に挙げる能力を身につけ、所定の単位を修得した者に専門職の学位を授与します。

- 臨床心理学分野の高度専門職業人としての責任感、職業倫理観をもって心理支援ができる能力
- 地域の歴史や文化を視野に入れ、それらの理解に立った心理支援ができる能力

- 2 個人や組織・集団を対象とした見立てと心理支援ができる能力
- 3 事例研究を行い、新たな課題探求ができる能力
- 4 臨床心理学分野で指導的な役割を担うことができる能力

入学試験の概要

① 募集人員

募集人員は15名です。一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜のいずれかで選抜します。

② 出願資格

3つの選抜それぞれに出願資格を設けています。なかでも、社会人特別選抜では、心理職、その他の臨床心理学等に関連する職場において2年以上の勤務経験を有する者を対象としています。

③ 選択方法

出願書類で提出されたTOEIC Listening & Reading Test のスコアの原本 (TOEIC Listening & Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE)、筆記試験(専門科目)と口述試験の総合得点により、合否を決定します。

- 外國語(英語)試験は、提出されたTOEICスコアを換算して、選抜時の外國語(英語)得点とします。

- 筆記試験は、専門科目(臨床心理学及び心理学)に関するものです。

- 口述試験は筆記試験を受けた者を対象とし、あらかじめ提出された心理臨床活動計画書等の書類を中心に、臨床心理学の知識を問うとともに、臨床心理士になる意思の確認や対人援助職としての適性などを審査します。

④ 選択回数

年1回実施します(年内を予定)。



Graduate School of Clinical Psychology, Kagoshima University

鹿児島大学法文学部 専門職大学院係

TEL 099-285-7504



※お問い合わせ受付時間 9時～17時まで (土・日・祝を除く)

〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-30

[E-mail] hdaigakuin@kuas.kagoshima-u.ac.jp

交通のご案内

JR鹿児島中央駅から徒歩約28分

バス 市営バス11、20番線、鹿児島交通バス18、19番線、南国交通バスN39番線「法文学部前」下車徒歩約5分

市電 「唐湊(そと)」又は「工学部前」下車徒歩約5分

JR 指宿枕崎線「郡元駅」下車徒歩12分

臨床心理学研究科ホームページ <https://cp.leh.kagoshima-u.ac.jp/>

 鹿児島大学大学院
臨床心理学研究科

臨床心理学専攻 専門職学位課程

令和4(2022)年度版

国民一人ひとりの心に寄り添う臨床心理士をめざす。

臨床心理分野専門職学位課程として国立大学初の独立研究科である鹿児島大学大学院臨床心理学研究科では、臨床心理分野の高度専門職業人として、深い学識と卓越した能力及び職業倫理を身につけて、国民のこころの問題に即応した心理支援ができる臨床心理士を養成することを教育目標としています。公認心理師については、大学（学部）で指定科目を修得して卒業し、かつ本研究科入学後、本研究科が指定する公認心理師対応科目を修得することで、受験資格を得ることができます。

**鹿児島大学大学院
臨床心理学研究科の
5つの魅力**

- 高レベルの専門知識を
しっかり習得
臨床心理士・公認心理師
有資格者である
専任教員による指導
- 徹底した少人数で
きめ細やかな指導を実現
充実した
スーパー・ビジョン体制を
もつ心理臨床相談室
- 実践からの技能と
学術体系が同時に学べる
実務家教員と
教育研究教員による
コラボレート授業
- 豊富な実務実践経験を
積める
学内・学外実習
指定大学院の
約3倍の実習時間
- 2年間4セメスターに
わたる学外実習
実務家教員による
教育、福祉、医療、
司法・矯正を網羅した
学外実習

修了生の臨床心理士資格試験合格率 **98.4%**

本研究科を修了すると臨床心理士資格試験の 小論文試験は免除

必修科目を含めた所定の単位を修得したのち、「臨床心理修士（専門職）」の学位が授与されます。また、本研究科を修了後、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会が実施する直近の臨床心理士資格試験の受験資格を得ることができます。

公認心理師資格試験の合格率（平成29年度～令和2年度修了生）93.2%。



充実した学修環境

- 総合教育研究棟の中に、臨床心理学研究科の学内実習施設として心理臨床相談室があります。
- 学修環境として院生室があり、一人につき一台のパソコンを配備しています。
- 個人情報保護のために記録室を完備しています。

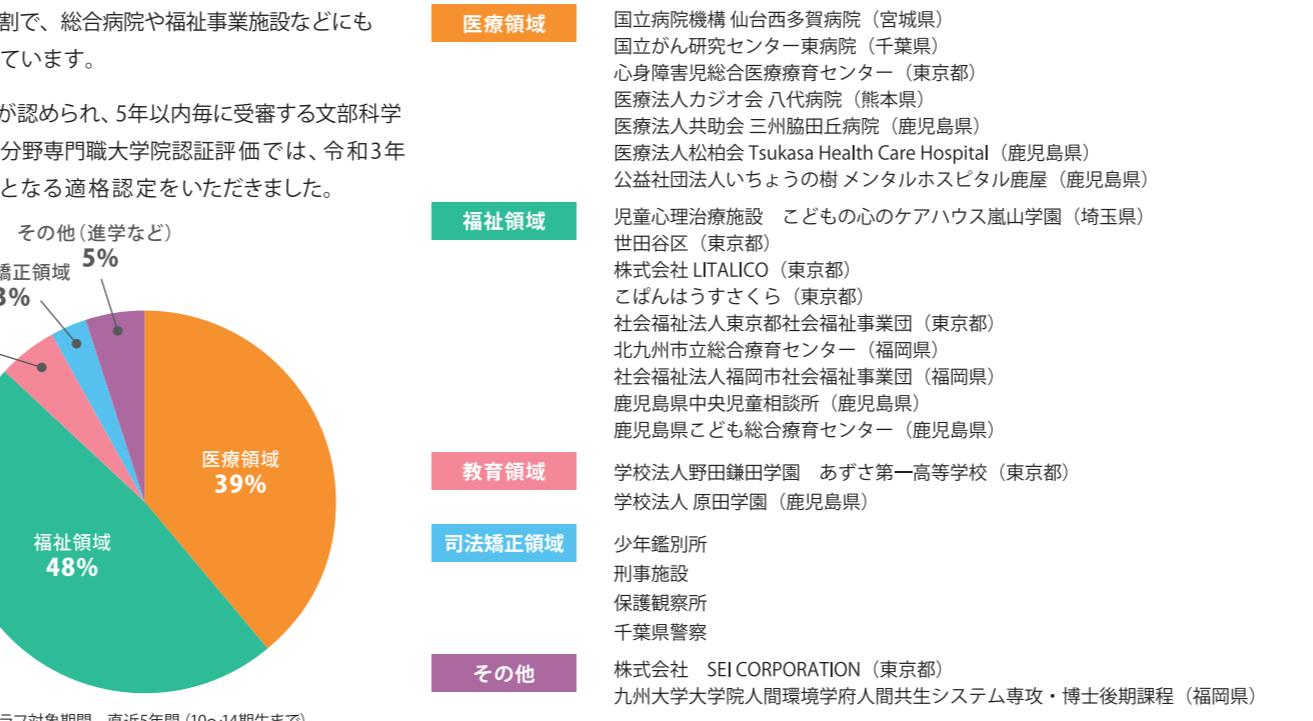


修了生の進路

14期生も 就職率100%

公務員（約20～30%）、医療領域、福祉領域など専門職として活躍中！

2017～2021年度 修了生の主な進路



他にも、学外実習先である医療法人慈和会大口病院、医療法人善徳会坂之上病院などにも修了生が就職し、後進の指導にあたっています。

修了生の声

鹿児島大学大学院臨床心理学研究科で学んだ先輩たちは、様々な分野で活躍しています。
社会へ羽ばたいた、先輩に語っていただきました。

VOICE 1 鹿児島県中央児童相談所 Aさん 2019年3月卒 臨床心理士・公認心理師

私は児童相談所の心理技師として、児童虐待や不登校、非行など様々な背景のある児童やその保護者との面接、心理検査を通じて、環境調整や家族支援等、その子にとってより良い支援は何か、児童福祉司と共に日々考えています。その際、大学院でケースを受け持ち、実践的に面接技法や心理検査を学び、スーパー・ビジョンやカンファレンスで色々な視点を得た経験が支えになっています。大学院での2年間、多くの経験を通して学びを深めていってください。

VOICE 2 福岡少年鑑別所 Bさん 2017年3月卒 臨床心理士・公認心理師

私は、現在法務技官として、福岡少年鑑別所で勤務しております。非行少年に対して面接や心理検査等を実施し、その少年の特性や非行に至った要因を鑑別するのが主な仕事です。非行の背景にあるものを見極めるのはとても難しいですが、大学院で得られた知識や経験が支えとなっており、また、実習を通して実践的に学んできたことが、現在の非行少年との関わりに活かされています。入学希望者や現役生の皆さん、様々なことに取り組み、現場に出たときのために、十分な学びを得ていただけたらと思います。

VOICE 3 鹿児島県立姶良病院 Cさん 2017年3月卒 臨床心理士・公認心理師

医療観察法病棟にて、心神喪失などの状態で、重大な他害行為を行った方（対象者）の社会復帰の促進を目的として働いており、大学院で学んだ薬や精神疾患の知識、心理検査のスキルが役に立っています。また、対象者と関わる時には、実習を通して学んだ“自分の考え方の癖や性格を自覚し、自分の考えと対象者の思いを混同せずに相手に向き合うこと”の大切さを改めて感じています。在学中に経験したことの一つ一つが、今の私の糧となっています。

VOICE 4 学校法人野田鎌田学園 あづさ第一高等学校 Dさん 2017年3月卒 臨床心理士・公認心理師

現在は通信制の高等学校で常勤のスクールカウンセラーをしております。生徒や保護者の方の相談、授業や行事等でのサポートや、教職員や保護者の方向けの講話など様々な業務に取り組んでいます。様々な領域での実習のおかげで、仕事上で他機関の方と連携する際に、「何が必要なのか」がイメージしやすいとともに、尊重することの大切さをもって臨むことで良好な関係作りにつながっていると思います。実務は手厚く指導していただいた大学院と違い、戸惑いと困難の連続ですが、院で学んだ数々のことが支えになっています。

VOICE 5 児童養護施設 双葉学園みのり Eさん 2019年3月卒 臨床心理士・公認心理師

児童養護施設には虐待等の様々な家庭背景の子ども達が生活しており、個別のセラピーや生活場面での関わりの中で、トラウマや心のケアに努めています。子ども達の心が少しでもスッキリしてほしい、そんな思いで子ども達や、処遇を担うケアワーカーさんの支援をしています。大学院でクライエントさんや、自分との向き合い方を学んだことは、今も自分の支えです。皆さんがたくさんのことを学び、活躍されますことを応援しています。